



山木 綾子の  
議会ウォッチング

N0110



川越市議会議員

# やまきあやこ

事務所 350-1137 自宅 350-1137  
川越市砂新田 4-4-6 サングリーン高階 川越市砂新田 5-27-9  
TEL・FAX 049-249-3306 TEL・FAX 049-242-3543  
e-mail a-yamaki.11-26@nifty.com  
URL <http://www.yamaki-ayako.com>

令和4年度	一般会計予算	116,720,000千円
	特別会計予算	64,742,700千円
	合計	181,462,700千円

令和4年度の一般会計は、116,720,000千円で、特別会計は国民健康保険事業特別会計 33,794,000千円・介護保険 25,141,800千円を含む7本の特別会計 64,742,700千円。合計で181,462,700千円といった、大きな予算となりました。

## 4つの重点施策

### 【1】子供を安心して産み、育てることができるまちづくり

- 家庭児童相談・・・12,545千円
- 川越保育ステーション事業・・・60,547千円
- 子どもの居場所づくり・・・470千円
- 認定こども園整備事業・・・299,070千円
- 学童保育室改修工事・・・57,432千円
- GIGAスクール運営支援センター・・・49,295千円
- 教育システム環境設計業務委託・・・37,839千円
- スクール・サポート・スタッフ配置事業・・・3,713千円

### 【2】魅力を高め、活力を生み出すまちづくり

- 南古谷駅地区整備・・・178,295千円
- 蔵造り資料館耐震化工事・・・9,512千円
- 北部地区ふれあいセンター空調更新工事・・・25,404千円
- 川越運動公園テニスコート夜間照明LED更新・・・21,700千円
- 川越運動公園陸上競技場施設改修・・・7,700千円
- 市立川越高等学校空調設備改修工事・・・78,000千円
- リーントーリズム整備推進・・・156,163千円
- 鍛冶町広場東屋設備工事・・・10,086千円
- 連雀町新富町通線舗装美装化工事・・・41,500千円
- 旧川越織物市場整備・・・493,189千円
- 初雁公園整備・・・241,905千円
- 環境衛生センター施設整備・・・19,512千円

紙面の都合で【3】【4】は掲載できませんでした。川越市のホームページをどうぞ♥

# 山木綾子の一般質問

## 1. ダイバーシティの推進

### II. 川越市パートナーシップ宣誓制度の推進

の2項目について一般質問しました。

ここでは、

### II. 川越市パートナーシップ宣誓制度の推進

について、掲載します。

紙面の都合で答弁は要約しています。

## 1. 川越市パートナーシップ宣誓制度とは？

パートナーシップ宣誓制度とは、互いを人生のパートナーとし、日常生活において協力し合うことを約束した、戸籍上の性別が同じ二人の方が、パートナーシップ関係であることを市に宣誓し、市が宣誓した事実を証明する宣誓書受領証を交付する制度。

宣誓を希望する日の1週間前までに予約をする。当日は、二人で宣誓書に署名をして、書類の不備等が無ければ、宣誓書受領証をその場で発行する。なお、宣誓手続はプライバシーに配慮し、庁舎内の会議室等の個室で行っている。

## 2. 性的少数者とはどのような方々か？

「身体の性と性自認が一致し、異性を好きになる」という、これまで典型的と考えられてきた性のあり方に当てはまらない方々を



性的少数者という。女性の同性愛者であるレズビアン、

男性の同性愛者であるゲイ、両性愛者であるバイセクシャル、身体の性と性自認が一致しないトランスジェンダーの頭文字をとり「LGBT」という表現が多く用いられている。

一方で、LGBTだけでなく、性のあり方は多様であるため、最近では、性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字を合わせ

たSOGI (ソジ) という表現が用いられることもある。こちらは、性的少数者もそうでない方も含めて、全ての人が性の多様性の当事者であることに焦点を当てたもの。

性的少数者の方々は、性の多様性について周囲の理解不足から、偏見やいじめ等の差別的な扱いを受けたり、男女別のトイレや制服等により、社会生活上の困難を抱えたりすることが多い。

## 3. パートナーシップ宣誓制度の課題？

本市がパートナーシップ宣誓制度を導入した当時と比べまして、最近、制度を導入した自治体においては、異性カップルや事実婚の方も宣誓の対象に含めたり、パートナーだけでなく同居する子どもや親等についても家族関係にあることを証明するファミリーシップ制度を導入し、より利用しやすい制度となっている。

また、全国的には、近隣の実施自治体と協定を締結することで、転出・転入の際に簡易な手続きで制度を継続利用できる「都市間相互利用」を実施している自治体もあるようだ。こうした状況から、本市においても、今後の近隣自治体との相互利用を見据え、対象者の拡大を図るなど、性的少数者の方がより利用しやすい制度としていく必要があると考える。また、現状において、宣誓したことにより受けられる行政サービスがないことも、課題であると認識している。

## 4. 性的少数者の方へのサービスは？

パートナーシップの宣誓を条件としたものではないが、一定の要件を満たせば、パートナーに係る住民票などの証明書の申請や、妊娠届出書の提出を代理で行うことができる。また、国民健康保険の被保険者証については、性同一性障害でやむをえない理由がある場合、申し出により戸籍上の性別を裏面に記載することが可能となる。

一方、生活保護費や子どもの保育料等につきましては、同居の実態がある場合には、同一世帯としてパートナーの収入も

合算して算定を行うこととなる。これらの取り扱いにつきましては、ホームページで公表している。

### 5. パートナーシップを宣誓した方の子どもへの対応は？

本市の制度では、宣誓した二人のパートナーシップ関係を証明するにとどまり、パートナーの子どもも含めた家族関係を証明する制度とはなっていない。

パートナーに



子どもがいる場合、保育園や学童保育室の送迎につきましては、あらかじめ施設に届け出ておくことでパートナーによる送迎が可能となる。

保育園の入園調整や保育料の算定、就学援助の認定審査については、同居等の実態に沿った取扱いがなされている。

### 6. 市営住宅の入居は？

市営住宅への入居については、入居者資格として川越市市営住宅条例に「現に同居し、又は同居しようとする親族があること」と規定されている。

また、親族につきましては「婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者、その他婚姻の予約者を含む」としている。

以上のことから、公営住宅を管理する埼玉県や他の自治体の動向を注視し、宣誓したカップルが入居者資格に適合するための規定の整備手法等は、条例の変更も含めて検討を進めていきたい。

### 7. 職員がその配偶者や妻に起因して利用などができるものは？

- ・ 休暇では、婚姻休暇などの特別休暇や介護休暇など、
- ・ 給与では、扶養手当など、
- ・ 福利厚生では、結婚祝金などがあるが、いずれもパートナーシップを宣誓し

た職員が利用などを行うことができる制度とはなっていない。

### 8. 市民や市職員、教職員等への啓発は？

市民の方たち向けには、公民館等で実施する出前講座や、ウェスタ川越の提案事業講座において、性の多様性やパートナーシップ宣誓制度等に関する講座を実施している。

このほか、広報川越や、男女共同参画情報紙「イーブン」、市のホームページ等に、関連する記事を掲載したり、ウェスタ川越の男女共同参画推進施設に啓発パネルを掲示している。

また、市職員や教職員向けには、性の多様性の理解に向けた研修を実施している。性的少数者への配慮指針を含んだ「職員ガイドブック」を作成し、庁内ホームページで職員に公開している。

### 9. 今後の制度の在り方について、市長の見解を伺いたい！！

この制度は、法的な効力を生じさせるものではない。性の多様性について社会的な理解が促進される契機となるよう、一人ひとりの人権が尊重され、自分らしく生きられる社会の実現を目指して実施している。

周囲の理解が十分でない中では制度の利用も進まないと思われますので、性の多様性の理解に向けた周知・啓発を継続的に実施し、宣誓しやすい環境を整えていきたい。今後の自治体間の相互利用も見据えた対象者の拡大などについて、現在、検討を進めている。当事者の方の声に耳を傾け、より利用しやすい制度となるよう努めていく。

#### 議場でのコロナ対策

議席の左右と、前面をアクリル板で仕切りました。審議は議場に24名と、2部屋の委員会室、それぞれ6名ずつに分かれて審議しています。開会と採決の時は全員で議場に入り採決します。

# 山木綾子の議員活動

## 「川越女性市議団」を立ち上げました。

「生理の貧困」が明るみになり、社会問題として取り上げられています。

川越市も、災害備蓄品の中から生理用品



3,000 パックを学校を中心に市民センター等で配布しました。この

支援が、一過性で終わることなく、継続的な支援につなげるにはどうしたらいいのか？

川越女性市議 8 名が党・会派を超えて、まず、「女性の性の貧困」について考えようと、第 1 回の話し合いを持ちました。

## 「生理の貧困」の実態調査へ

川越女性市議の会では、「生理の貧困」の実態を知るべく、市内の小・中・高・



養護学校 56 校に対して、26 項目にわたり、アンケート調査を実施することになりました。教育長から各学校長にお願いして、養護教諭に記入をお願いします。何らかの形で、本当に困っている人（児童・生徒）の手元にストレスなく届くには如何したらよいか。まずは、実態調査から始めることにしました。

## 市長へ「要望書」を提出

来年予算の教育費の中に衛生用品（ナプキン等）の費目を設けて頂きたく予算要望いたしました。



## 川越市議会 100 周年 記念誌編集会議

川越市は 12 月 1 日市制施行 100 周年を迎えます。市議会も 2023 年 3 月をもって 100 周年となります。



そこで議会では

2018 年より、「川越市議会 100 周年記念誌検討委員」立ち上げました。編集長として、他の会派の皆さん、事務局に助けられてもう一歩のところまですすめてまいりました。

発行は、12 月。楽しみにお待ちください。

## 昨年同様コロナ過での成人の集い

今年も新型コロナウイルスの蔓延により、ウエスタで行われた、「成人の集い」。

成人を迎えた方たちの実行委員会が、会を営いたしました。



市内各地域

ごとに 3 部に分かれて行われました。

私も第 3 部に参加させていただきました。

## 無料PCR検査をしました。

埼玉県の無料 PCR 検査を受けました。

2 月 4 日の・木曜日、クリアモールの川越駅から丸広の先、右側の PCR センターで受けました。唾液による検体採取で 10 分ぐらいで終わりました。



6 日の朝 5 時 8 分にショートメールで結果が報告され

ました。結果は「**陰性**」でした

## 蔓延防止等発出中

今年も新型コロナで、蔓延防止等発出中でいちご狩りをあきらめました。全天候型のいちご狩り。

